

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 185 号 2013. 9. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

主人のめまいと私の取り組み

茨城県 臨元玲子

数年前に市原裕美さん(179号参照)から、一緒に自然農法をやりませんかと誘われました。そのころ私は体力がなく、無理とと思っていましたが、自然農法の普及と思い、始めてみると、まったくの素人にはその作業は大変でしたが、終わってみると、それほどの疲れもなく、とてもさわやかな気分でした。不思議なことに作業中、徐々に体力がついてきたのか、毎回汗と共に鼻水がたくさん出ます。自然農法の作物を食するだけでなく、畑の実践からも、元気にしてもらっていることを実感しています。



また昨年、主人が激しいめまいのため、吐き気とおう吐が続き、何も食べられなくなりました。自然米と自然農法の味噌と野菜でおかゆを作り、食べてもらいました。一膳だけでも、とっていましたら、何杯もおかわりし、その後の回復は早く、仕事にも復帰できました。普段、市販の弁当のご飯はくさいというくらい敏感な主人ですので、めまいの状態から自然農法の食物を頂けたことに感謝しました。

これらの体験から、自然農法の実践の大切さを学びました。現在、自然農法 18 年目の土で、ネギ、落花生、ダイコン、サトイモ、サツマイモなどを栽培しております。畑での収穫は期待していたようにゆかないことも多いですが、一人でも多くの方に理解し喜んでいただけるように、これからも取り組んでいきたいと思っております。

米作りの開始と稲作交流会!

群馬県 小林 均



我が家にはわずかですが約 2 反歩の田んぼがあります。私は自然農法について教えていただいたときから、いつか自分の手で自然農法による稲作を行いたいと思ってきました。昨年の途中からその機会を得ることができ、2013 年からは本格的に実施しようと、その時点で仕事を辞めることを決心し、今年の稲作に期待と喜びをもって始めたつもりでした。しかし、体調的な事情も重なり、なかなか思ったようには事が運ばず、やろうと思ったことの 2~3 割程度しかできない感じで、単純な稲作の一年間の作業程度で今年は終わってしまいそうです。

そんな中でも来年の稲作への思いは強くなり、苗作りを学ばなければと思っていたときに、野中さんから稲作交流会があるとお誘いを頂き、稲作の諸先輩方から技術的なことを学びたいと、8 月 30 日、参加させていただきました。しかし交流会の参加者で、初心者は私だけで、他は長野の堀さん、福井の富田さんと、自然農法の米作りに関しては大学の研究者のような方ばかり、私は初歩的な技術を伺おうと思っていたのに、お話の内容は自然農法に関する高度なお話。「自然農法による米自体の良いことは生産者側も分かっている」「消費者も自然農法による米の良さを認識している」「これから消費者側がますます自然米を求めてくることは想定されるが、そのニーズにこのままでは応えられない」「何とか生産者側に分かってもらおうと、色々なことを試みてきたが変わらない」「やはり消費者側からの圧倒的的要求によってしか変わらないのか」というようなお話など。

皆さんの熱き思いのお話で時間のたつのも早く、私としては最後のほうで、忘れてはいけない苗作りの技術的なことを教えていただき、初心者なりに自然農法をできるだけ忠実にやることを決心し、ゆくゆくは群馬の地にて自然農法の稲作を増やしていきたいと思っておりました。ありがとうございました。

体験学習に参加!

東京都 野本晴美

何年も前からの念願が叶い、8 月 18~20 日、長野県木島平の自然農法体験学習に、子供二人と参加できることになり、ワクワクしていました。夜真っ暗の中に到着したため、周りの様子は分かりませんでした。朝カーテンを開けるとびっくり! 木島平を見渡せる山々と平野がパーと広がっていました。なんとすばらしい景色と感銘し、1 日が始まりました。

扇状地にある堀さんの田んぼに行きました。

<子供たちの印象に残ったこと>

- ・ 無施肥無農薬栽培の稲が悪天候にも負けない秘密が分かりました。よその稲との違いを比べられた。
- ・ せぎから出てくる水(田んぼ用水)はすごく冷たい。

<私の印象に残ったこと>

- ・ 白くてちっちゃくてよく見ないとわからない稲の花をやっと見つけ、虫めがねで観察しました。開花して受粉するとすぐに閉じ、見られるのは一瞬で、しかも晴れた日の 10~15 時の時間帯でしか見られないそうです。
- ・ 田んぼの中の土を触ると羽毛のようにフワフワでした。

2 日目の夜はテントに泊まりました。寝てからトントンと野菜を切る音と、虫の音の共演が始まりました。明日の朝食の準備だとすぐ分かり、こんな遅くにと感心しました。そうなのです。びっくりしたことに、8 月 18 日の八王子の農産展で頂いた野菜を持ってきて、それを利用して、食事をすべて用意してくれるのでした。つまりこの 2 泊 3 日は、すべて自然農法のもの頂くという、食も体も丸ごと自然体験が主旨だったので。なので、子供も自主的にお手伝いに加わったようでした。

帰りにはトマト農園(久保田さんの農園)を見学し、お話を伺いました。私も毎年何か野菜作りに挑戦しているので、とても参考になりました。

今回の体験で学んだことを、農家のお友達にお伝えしたいと思います。無施肥無農薬栽培にすると、徐々に雑草も生えにくくなるし、何も食べられないほど具合が悪くなくても、このお米だと食べられるんだよと、自信をもってお伝えできそうです。

そして大人になって初めて知った、食べ物の現実があります。子供が喜んで食べる駄菓子でさえ、添加物だらけで、私はスーパーに行くとき何を買ったらいいか迷うことがあります。とても生きづらい世の中に思えます。

やはり皆の意識が変わり、今までの食の概念の棒を取り払い、本当に安全で豊かな生活が来ることを願うばかりです。オリンピックと一緒に、日本中(世界中)がもっと元気になれるように。

皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

お知らせ

★ 自然農法頒布会 10 月 14 日(祝) 東中野会場 10:00~(売り切れ次第終了)

人を活かす作物を食べて感じてみてください!

★ 自然栽培フェア 10 月 26 日(土) 27 日(日) 中野セントラルパーク 10:00~16:00

JR 中野駅北口から徒歩 5 分、TOREK から「TOREK 自然農法むせひ屋」の屋号で出店。自然栽培の生産者、農産物が、全国から集まる二日間です。

★ 自然農法勉強会 10 月 29 日(火) 午前の部 10:30~ / 午後の部 19:00~ (別院講堂)

無施肥無農薬栽培物の販売予定

10 月 3 日 於: 伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。

東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- 長柄山自然農園 : 卵
- きじま平自然農産 : 納豆、きじま弁当、本露金時
- 市川生産グループ : 煎茶、ほうじ茶
- 菜園 金野 : ナス、新生姜
- 中島農園 : ジャガイモ、ニンジン、梅干、プラムジャム
- ジョリフィユ : ルバーブタルト、シュークリーム、カスタードプリン、マドレーヌ ほか

お問い合わせ先: 編集部 針貝 FAX: 03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK 活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>

